

b P S 演習④⑦・⑧ まちをつくってみよう

★例題★

下の図のようにお店が建っています。それぞれのお店には、その場所に建てられた理由があります。どんな理由があるか説明してみましょう。

ただし以下の条件を考慮すること。

[条件1]

F市は県庁所在地で官公庁や企業が集積している。

[条件2]

E市=F市のベッドタウンとなっており、人口は非常に多い。

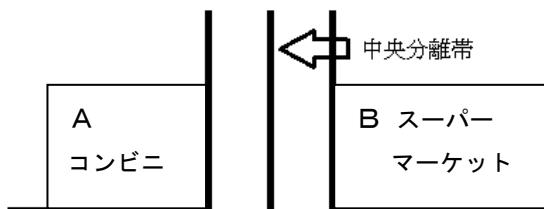
[条件3]

地価（土地の値段）はA>D>B>Cの順である。

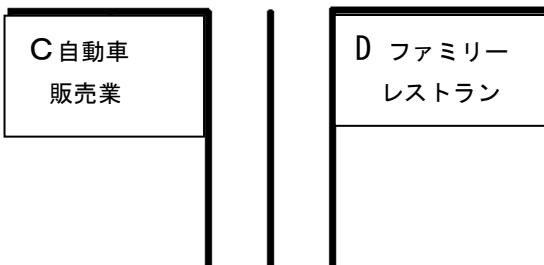
[条件4]

お客さんは、通勤客・仕事帰りの客・休日の客という3種類で考える。

F市方面



海水浴場



E市方面

コンビニ：〔例〕朝、F市に向かう通勤前の客に利用してもらうため。

自動車販売業：

スーパー マーケット：

ファミリー レストラン：

問題 1

武生高校近辺の地図があります。これを参考に、グループで「まち」をつくってみましょう。

以下の条件をよく読んで、地図に書き込みをしていきましょう。また、そのように設定した理由をふせんにかきこみ、地図の周囲に貼り付けましょう。

[条件 1]

収益を考えたまちづくり。

[条件 2]

自然物（山や河川など）はそのままの状態で考える。（切り崩したり、埋め立てたりしない。）

[条件 3]

なぜこうするのか、なぜここにこれが必要なのかを論理的に説明する。

問題 2

グループごとに、自分たちのつくったまちを発表しましょう。

1 グループあたり 2 分以内で説明しましょう。

b P S演習④・⑤まとめプリント

演習④・⑤ ループリック

学習活動	土地を活用するには、それぞれ有利・不利があることを理解した上で、本校がある越前市に「収益」をもたらすまちづくりをするためにはどのようなものが必要かを考え、グループで話し合い地図上にまとめる。さらに、それをもとにプレゼンテーションを行う。
期待以上 (S)	土地を活用するには、それぞれ有利・不利があることを理解し、本校がある越前市に「収益」をもたらすまちづくりをするためにはどのようなものが必要かを考え、グループで話し合い地図上にまとめることができる。さらに、それをもとに効果的なプレゼンテーションを行うことができる。
十分満足 (A)	土地を活用するには、それぞれ有利・不利があることを理解し、本校がある越前市に「収益」をもたらすまちづくりをするためにはどのようなものが必要かを考え、グループで話し合い地図上にまとめることができる。さらに、それをもとにプレゼンテーションを行うことができる。
おおむね満足 (B)	土地を活用するには、それぞれ有利・不利があることを理解し、本校がある越前市に「収益」をもたらすまちづくりをするためにはどのようなものが必要かは考えられる。
努力を要する (C)	土地を活用するには、それぞれ有利・不利があることを理解することはできる。

ループリックによる評価

本時のまとめ	感想